





## ■使用する製品

			
専用治具	土手代替芯材	安震V3	専用接着剤 安震アイバ・ノズル

## ■施工手順

	手 順	ポイント
①	 <p><b>【必須】設置箇所・治具の掃除</b>                      (1)アセトン剤とウエス等にて、設置場所の汚れを取り除いてください。                      (2)ウエスとI・P・A(イソプロピルアルコール)等にて、治具の裏面と設置場所の脱脂を行ってください。</p>	<p>ゴミ・塵・油分の無いように、必ず汚れを取り除いてください。</p> <p>接着力の効果が無くなり、施工不良になる恐れがあります。</p>
②	 <p>先に穴をあけてください</p> <p>「専用接着剤安震アイバ」の挿入口を先端の尖ったもので穴をあけ、ノズルを装着します。                      その後、ノズルをはさみ等で斜めにカットし、コーキングガンにセットします。</p>	 <p>罫書き線 2本目から斜めカットが最適です。</p>
③	 <p>ゲルのフラット面を治具の裏面に貼りつけます。                      その後、「安震V3」に土手代替芯材を装着します。</p>	 <p>治具裏面には、「安震V3」を貼る目安の線があります。</p>
④	 <p>「安震V3」の床面側にアイバを薄く塗布します。</p> <p><b>「安震V3」の床面側にアイバを塗る</b>  <b>メリット……</b>                      「安震V3」に塗布したアイバが、潤滑油の役割をし、設置時に位置の微調整が可能になる。  <b>デメリット……</b>                      後日、レイアウトを変更したい場合、取り外し時、「安震V3」が破損する恐れがあるので、再利用が出来ない。</p>	<p><b>「安震V3」の床面側にアイバを塗らないと？</b>  <b>メリット……</b>                      施工後、目地のアイバにカッターで切込みをいれるだけで治具が取れるので、「安震V3」の再利用が可能です。  <b>デメリット……</b>                      設置時に位置決め微調整が困難になります。</p>
⑤	 <p><b>もし、設置時、後ろから安震アイバが設備に隠れ、注入出来ない場合</b>                      水色の点線部分は、設置後、アイバを注入することは困難です。  <b>その場合、手順⑥を行ってください。</b></p>	

	手 順		ポイント
⑥		ガムテープなどを数本重ね、空洞に治具を固定させて、隠れてしまう面に、事前に、安震アイバを先に塗布しておきます。 その際のアイバの高さは <b>11~15mm程</b>	 <p>アイバの量が少ないと、施工不良の原因となります。</p>
⑦		設置設備を載せ、位置を決めます。	
⑧		アイバを注入します。押し戻しがあるまで、しっかり入れてください。	隙間がある場合は、 <b>アイバを再度、注入してください。</b>
⑨		ヘラでアイバを押し込むように、表面を均します。	<b>アイバを入れる量が少ないと、硬化後、隙間が生じ、効果が減少する恐れがあります。</b>
⑩		U字ボルトを締付けます。 <b>参考トルクN・m</b> <b>1.5~2.0N・m</b> ※対象物の材質により、このトルクは目安となります  <b>U字ボルト締付けについて、アイバ注入後、すぐに締めつけても問題はありませぬ。</b>  ※位置がしっかり決まらずれない場合	<b>機械自体の振動が大きい場合</b> 養生期間 2日間（48時間） <b>機械自体の振動が無い場合</b> 養生期間 5~6時間  ただし、アイバがしっかり中まで硬化するには、 <b>3日間（72時間）</b> かかります。